

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔カメラ〕 （店長）	・11、12月共に前年並みかそれ以上の実績が出そうであり、来期も期待できる。来年は国体もあるので売上が期待される。
		衣料品専門店（経営者）	・暖冬傾向であり冬物衣料は期待できないが、その分春物衣料の出足が例年より良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・就職活動のためリクルートスーツ目的の若い客の来店が、女性を含めて前年より断然多くなっている。これからも若い客の来店が順調に伸びる。
		衣料品専門店（店長）	・暖冬に関係なく売上が上向きに推移した動向をみる限り、客層が広がるセールにも期待が持てる。また、気候がより冬らしくなれば数字が安定してくる。
		衣料品専門店（店長）	・景気回復による就職率の上昇が予想されるため、入社組によるスーツ需要が期待できる。
		家電量販店（店長）	・1月に新OSが発売になるので、これまで低迷していたパソコンの動きが良くなる。AV関係は今後も堅調に推移する。初売りの効果にも期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・1月の初売りから3月の需要期にかけて、市場は動き出す。
		観光名所（職員）	・前年同時期の予約状況よりも伸びている。このままいけば来客数に合わせ物品販売も伸びる。
		美容室（店員）	・最近はずいぶんではあるが前年を上回ってきているので、この先はもう少し良くなる。
		設計事務所（経営者）	・客の様子から、春以降の地元企業の設備投資が増えてきているように感じられる。
	変わらない	商店街（代表者）	・消費者の大型店志向は止まらない。
		一般小売店〔雑貨〕 （企画担当）	・客の所得が急激に良くなる状況ではなく、その中で生活必需品は最低限購入していくため、上にも下にも大きな変化はない。
		百貨店（広報担当）	・11、12月の商戦をみると、個人消費は依然慎重であると言わざるを得ない。特にセール期以外はその姿勢が顕著である。したがって春物商戦の実需期前半となる2、3か月先はまだ慎重な購買姿勢が続く。
		百貨店（経営者）	・来店客の固定化が進み、流動的なフリー客の構成比が増えていないため、今後極端な変化がなく推移する。
		百貨店（経営者）	・食品部門は競合の状況が変わらない。暖冬の影響はこれから寒さが厳しくなっても、売れ筋がなくなる時期になるので、むしろ春物の動きに悪影響となる。また、経済環境をみても個人消費が上向くことは考えにくく、トレンドは変わらない。
		スーパー（経営者）	・消費は安定しているものの、新潟県中越地震の復旧工事がほぼ終了し、建築土木業界の減速が心配される。
		スーパー（店長）	・暖冬ではあるが暖房費は高く、買い控えの傾向が続く。チラシを持参して買い回る客も多く価格に敏感になっている。
		スーパー（店長）	・暖冬のため暖房費は節約できるものの、灯油代の高騰が家計を圧迫している。
		コンビニ（経営者）	・前年の12月から丸1年売上が低迷しているため、この先は前年並みで推移する。
コンビニ（エリア担当）	・給与所得者については1月から実質増税となることから、企業の業績が良くなって給与が多少上がっても相殺されてしまう。むしろ、財布のひもが固くなる可能性もある。		
コンビニ（エリア担当）	・コンビニの主力商品である弁当、サンドウィッチが前年を10%程度下回る状況が続いており、回復の兆しがみえない。		
衣料品専門店（経営者）	・税制改正により、企業は良くなるが社員の給与には反映されない。また、職種により企業間の格差も大きく、全体的な景気回復にはまだまだ時間が掛かる。		
衣料品専門店（総務担当）	・シーズン用品が特に顕著であるが、前年の9割の状態となっている。単価のほつも低価格のものを求められることから景気自体は良くならない。		
家電量販店（店長）	・一部に単価の上昇がみられるが、来客数の減少が止まらない。客の雰囲気もあまり良くない。		

乗用車販売店（経営者）	・新型車のイベント効果もあり、2、3月の最大需要期に向けた商談も出始めている。しかし、豪雪エリアでは少雪のため仕事不足になっている業種もあり、全般的な景気は伸び悩む。
乗用車販売店（従業員）	・これから初売りに突入するというのに市場に活気が感じられない。景気回復の兆候がみえないのはどの業界も同様である。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・お歳暮の動きが予想に反し前年を下回りそうである。一部を除いて地元商店、大手百貨店とも前年を割り込んでおり、消費回復までは程遠い。地方の景気回復は本物ではない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・年が明けても現状の暖冬傾向は変わらない可能性が高く、現状の低収益が続く。卸価格、小売価格とも低調な状況となる。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・価格の変動が大きい。灯油の売行きが低下しているが、この先も暖冬が続くそうである。スノータイヤなども出ていないのでこの先も厳しい。
一般レストラン（経営者）	・他業種の人の話を聞いても仙台は特に景気が悪いと感じている人が多く、3か月後もあまり変わらない。
観光型旅館（経営者）	・12月の売上が1年ぶりに前年比で上回ったが、1月以降の予約状況を見ると予断を許さない。景気が良くなるという「雰囲気」は少しずつ出ているが、実際の来客数の増加につながるまでには、まだまだ時間が掛かる。
都市型ホテル（経営者）	・1月の新年会から3月の歓送迎会にかけて個人単位の動きは平年どおり見込まれる一方で、談合事件などにより自粛ムードがあることが不安材料である。
都市型ホテル（スタッフ）	・4月からの政令指定都市移行に伴う記念行事に期待するものの、昨今の状況からしてホテル利用は少ない模様である。
都市型ホテル（スタッフ）	・仕事柄3～6か月先の受注活動をしているが、ほぼ横ばいの受注状況である。
旅行代理店（従業員）	・一部では景気が回復していると聞くこともあるが、全体的にはそのような感覚はない。ほんの少しずつ良くなっているといってもごく一部であり、まだまだ厳しさが続く。
テーマパーク（職員）	・マスコミに当館が取り上げられる頻度が高くなっているため、来客数の増加に加えイメージアップにより商品購買意欲が高揚し、来客数、売上、単価共に前年を継続して上回る。
遊園地（経営者）	・団体客の動きが遅くなっている。それ以外の要因にも良いものは見当たらない。来春は早めに暖かくなることを期待している。
美容室（経営者）	・前年比の減少が同じような水準でここ半年くらい推移している。回復基調がみられず、3か月先も変化はない。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・一般市民にとって事実上の増税状態となり、消費は必要最小限になるため、景気はやや悪くなる。
商店街（代表者）	・地方の企業においては賃金のベースアップは期待できない。年金生活者の医療費負担増など格差が広がり、良いことは1つも無い。さらに、来春は郊外に大型ショッピングセンターがオープンする。
商店街（代表者）	・年内は集客イベントなどで来客数が平年並みであるが、年明けからは郊外の大型店に客足を奪われそうである。
一般小売店〔書籍〕（経営者）	・当月オープンした大規模競合店の影響が出始める。
スーパー（経営者）	・県内には2、3月にかけて新たな競合店の出店が予定されていることから、来客数、販売量が減少する。
スーパー（店長）	・ここ3か月の傾向は、来客数、一品単価は前年並みで推移しているが、買上点数が5%ほど低下している。これは、競合店出店により客が2店、3店と買い回りしていることが一因で、駐車中の車の中に競合店の買物袋が目立つ。
スーパー（店長）	・相次いでオープンした大型店、競合店の影響は予想ほど大きくなかったものの、来客数の減少はみられる。環境は一段と厳しくなる。
スーパー（店長）	・ディスカウントストアの新規出店が予定されているため、競合激化にさらされる。また、売場レベル維持のための採用が滞っている。その一面として派遣会社がシェアを伸ばしており、人材不足が懸念される。
スーパー（企画担当）	・商圏内への競合出店が今後も続くため、単価の低下傾向に加え来客数も流出する。
コンビニ（エリア担当）	・雪が降らず、冬の行楽地が繁盛しない。

	その他専門店〔呉服〕 (経営者)	・例年売上が少ない時期であるほかに、郊外の大型店に車で行く客が増えている。
	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・例年にない暖冬で冬の商品の売行きが悪い。積雪量も少ないと見込まれるため、スキー客等、県外からの旅行者数増加が見込めない。また、飲酒運転の取締り強化のため、夜の街も静かな状態にある。
	高級レストラン(経営者)	・地方の景気が良くなる要素がない。公共事業が削減されており、また、地域に大きな産業が開花するとも考えにくい。
	一般レストラン(経営者)	・定率減税の廃止などによる増税で消費が落ち込むと、飲食業は最もダメージがある。新年会は昔より少なくなっている。
	観光型ホテル(経営者)	・4月の統一地方選挙のためか、例年利用している客の予約が半減している。これまで学生は相手にしていなかった旅館が、今では積極的になっている。
	旅行代理店(従業員)	・先行販売は厳しい状況である。大雪の影響を受けた前年実績と比較しても物足りないものとなっている。
悪くなる	スーパー(店長)	・郊外に大型競合店の出店予定があり、商圏内のオーバーストア状態がますます進行するため、売上、来客数の減少は確実である。
	乗用車販売店(経営者)	・客は車を買いたい気持ちは持っているが、家計費支出の優先順位は低いいため、今後の車の販売には期待が持てない。今後はサービス部門、中古車、金融商品の推販にシフトしていかなざるを得ない。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	
	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・年度末、年度始めに向けて仕事が増えることに加えて、新規の客が増えているので新たな需要が期待できる。
	輸送業(経営者)	・荷主の生産量増加に伴い、保管、及び輸送量の増加が見込まれる。
	広告代理店(従業員)	・春先に向け情報は多様にあるので、結果を出していきたい。
	その他非製造業〔食料品卸売業〕(経営者)	・首都圏への日本酒出荷が好調であることから、新年以降、東北でもその傾向が現れる。
変わらない	食料品製造業(経営者)	・牛タンの原料はアメリカからの輸入増大が見込めないため、現状と変わらない。
	食料品製造業(総務担当)	・春の新製品を発売するが、既存商品の絞り込みもするので、全体としては横ばいで推移する。
	一般機械器具製造業(経理担当)	・自動車用部品は引き続き好調を維持する。加えて為替が円安で安定しているため輸出環境も良い。ただし、携帯用部品、民生分野については計画を下回りそうである。
	電気機械器具製造業(経営者)	・業種により年度末に受注が増える企業と減る企業があるが、総体的な受注量は変わらない。情報機器関連は増加傾向にあるが、精密機器関連は在庫調整の様子がかがえるため減少傾向にある。
	電気機械器具製造業(営業担当)	・製品開発や営業活動を積極的に行っている企業は多いが、結実するのに時間が掛かっている場合が多く、景気が上向くとはいえない状況である。
	電気機械器具製造業(企画担当)	・現状はかなり景況感が良いので、これ以上の向上は難しい。
	通信業(営業担当)	・年度内の見通しがあるうちはよいが、受注案件の価格や条件面での厳しさには変わりがなく、根本的な回復には至らない。先行見通しについては依然、楽観できない。
	広告代理店(営業担当)	・前年との比較で新しい物件がみえてこない。得意先の予算も抑え気味の状況である。
	新聞販売店〔広告〕(店主)	・チラシ折り込み、読者契約の月次実績を線で結んでみると、必ずしも上向き基調ではなく不安定であり、はっきりとした傾向をつかむことができない。
	コピーサービス業(経営者)	・年度末商戦に入るが、業績の良い民間企業は購入意欲も増すと見込めるが、地域の中小企業は悪い状態からあまり変わらない。官公庁からは年度末の予算執行で今よりは受注が増えることもあるが、全体的には変わらない。
やや悪くなる	繊維工業(総務担当)	・今が最盛期の春夏物について、追加受注が入るか疑問を持っている。産地機能が低下している状況下で、前月末にも1社が任意整理、廃業した。
	建設業(企画担当)	・コスト競争が一段と激化し、量的に確保できても損益的には厳しい状態がしばらく続く。

		<p>その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）</p> <p>・景気回復から地方は置き去りにされているという気持ちが強い。高齢化が非常に効いている。高齢者は自分で食事を作らなくなり、配達を受けて食べている。若い人の買物客は目立つが高齢者は少ないため、地域の消費活動の低下につながっている。</p>
	悪くなる	<p>出版・印刷・同関連産業（経理担当）</p> <p>・建設業の談合事件の後、心理的に冷え切っている状況が建設業以外の地場産業にまで全体的に影響し、収益も悪化している。仕事の動きが大きくなる。</p>
雇用 関連	良くなる	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>新たな業務や新規製造ラインに関する派遣や請負の打診があり、成約すれば供給が増える。当社で成約できないとしても外部社員の活用は必至で、市場は活性化する。</p>
	やや良くなる	<p>職業安定所（職員）</p> <p>・月間有効求人倍率がここ数か月は確実に高まっており、1.0倍を超える勢いであることから、景気の改善に寄与する。</p>
	変わらない	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>・これ以上良くなる気配はないが、求人数は堅調で求職者が追いつかない状況であり、景気としては悪くない。</p>
		<p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>・雪が少ないためか、中心商店街は例年より人出が多くなっている。ただし、雇用が増える要因は今のところ見当たらない。</p>
		<p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>・有効求人倍率は0.79倍程度と、ここ3か月は横ばいである。この先も急に改善する見通しはない。</p> <p>・一部の業種で人手不足感がみられるものの、職種の不マッチが大きく、雇用環境が急速に改善することはない。</p>
	やや悪くなる	<p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>・県内には電子部品、機械部品製造業以外に好況業種が見当たらない。</p> <p>・新潟県中越地震の復旧工事が年度末には大半が終了することから、建設業の人員削減が少しずつ始まっている。</p>
	悪くなる	-